

## 鹿島工場コージェネレーション設備の燃料転換

### ～CO<sub>2</sub>排出量削減への取り組み～

昭和産業株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長執行役員 新妻一彦)は、本年4月より「中期経営計画 20-22」をスタートさせており、基本戦略のひとつである「社会的課題解決への貢献」の目標として、「CO<sub>2</sub>排出量 26%削減への挑戦(グループ全体 2030年度目標、対 2013年度)」を掲げております。

当社は、ESG 経営の一環として、このたび鹿島工場コージェネレーション設備の燃料転換工事を実施することを決定いたしました。これにより、当社グループ全体 CO<sub>2</sub>排出量を約 20%削減します。

これまで鹿島工場コージェネレーション設備では、石炭ボイラーで発生させた蒸気を利用して発電を行い、さらに発電に使用した蒸気を、植物油や糖質製造工程の加熱にも利用し、高効率な燃料エネルギーの活用による環境負荷低減に取り組んでまいりました。

このたび約 5 億円※を投じ、コージェネレーション設備の燃料を「石炭」から「都市ガス」にシフトする燃料転換工事を実施し、石炭の使用を廃止します。都市ガスを燃料として使用することで CO<sub>2</sub> 排出量は、石炭の約 40%削減となり、地球温暖化の原因である温室効果ガスの大幅な削減が可能となります。燃料転換工事は 2021 年 9 月完成予定で、本工事による効果は、グループ全体の CO<sub>2</sub> 排出量約 20%削減を見込んでおります。

これまでも鹿島工場では、木質チップなどの再生可能エネルギーを活用したバイオマスボイラーの導入や、ガスエンジンコージェネレーション設備の導入などを通して、CO<sub>2</sub> 排出量の削減を実施してまいりました。

今後も当社グループは目標である「CO<sub>2</sub> 排出量 26%削減」の達成に向け、クリーンなエネルギー活用による環境負荷低減を推進し、持続可能な社会への貢献に取り組んでまいります。

※本事業は経済産業省の「天然ガスの環境調和等に資する利用促進事業費補助金」を活用した事業になります。(中圧ガス導管等でガス供給を受けている工場等に、災害時にも対応可能なガス利用設備の導入及び機能維持・強化を行う民間事業者を対象の補助金)

#### 【鹿島工場の概要】

所在地	茨城県神栖市東深芝 6
敷地面積	74,000 坪
主な設備	製粉工場、製油工場、糖質工場、穀物サイロ、コージェネレーション設備、バイオマスボイラー等

以上

<本件に関する報道関係の方のお問い合わせ先>

昭和産業株式会社 経営企画部 コーポレート・コミュニケーション室 担当:赤松

TEL:03-3257-2042